



東北の医療体制効率化を支援

写真：平成29年8月撮影

みんなの献血が東北中に運ばれているんだね!!



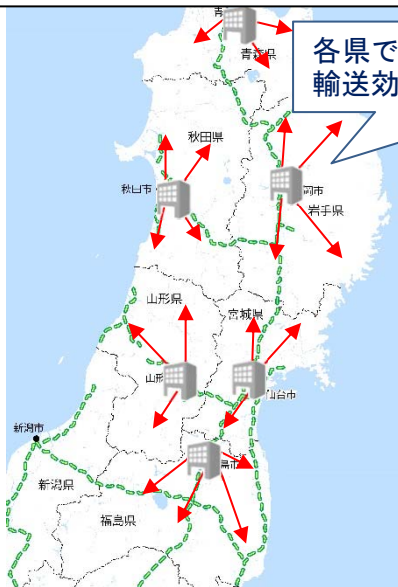
はいうえい人街ネット
イメージキャラクター
『みちのこはっぴ〜くん』

- ◆ 東北道の開通により迅速な血液輸送が可能となり、血液事業が効率化。
- ◆ 東北6県へ年間約8,800回の輸送が行われ、輸血用血液製剤約35万本を医療機関へ輸送。

■血液製剤の製造・輸送ルートの変化

【東北道開通前】

各県に血液製剤の製造所を整備し、県内に輸送



各県で血液製剤を製造していたため、輸送効率の低下が課題

【東北道開通後】

東北各県からの輸血を仙台に集約。一括して血液製剤を製造し、製剤を仙台から東北各県へ輸送



東北ブロック血液センター（仙台市）に、東北6県で献血される血液の検査・製剤・管理業務を集約し製剤を供給

年間約8,800回の輸送を実施

■関係者の声（血液センター）



東北道の開通前は、各県に1箇所ずつ血液製剤製造所を配置していましたが、東北道が開通し迅速な輸送が可能になったため、血液を集約し製造することで、一度に多くの血液製剤を製造することができています。

出典：平成29年8月ヒアリング結果

